

## 留学報告書

北海道教育大学函館校

国際地域学科地域協働専攻国際協働グループ4年

4052 吉田紗希

留学先国名：中国

留学先大学名：瀋陽師範大学

留学期間：2017年3月から2018年1月

### 1. 留学経験から得たもの

今回の留学を通して学んだことは大きく以下の4つあります。

- ①中国語の学習への意欲
- ②他の国の人と関わる楽しさ
- ③自分の意見をはっきりと伝える大切さ
- ④真摯に取り組むこと

まず①については、留学をする前は、中国語や英語に対して、「勉強しなければいけない」というような、プレッシャーがありました。そのため、留学前はなかなか勉強に気が進みませんでした。そのため、留学が始まって、授業で使われる中国語が分からないことが多く、授業に行くことがつらい時期がありました。そのため、授業のための予習復習を丁寧に行い、「自分はクラスの中で一番できないから、人一倍やらなければ」と考えるようになりました。そのおかげもあり、徐々に授業についていけるようになり、クラスメイトともコミュニケーションをとることができるようになりました。中国語のおかげで、様々な国の人と関わり、授業中に積極的に発言が出来るようになり、語学学習に対しておもしろいと思うようになりました。この気持ちの変化はとても大きな成果だと思います。

②は、中国で留学しているので、中国語を通して中国の方とコミュニケーションが図れた時は、とても嬉しさを感じました。しかし、留学生や他の外国の方と話すことにより大きな喜びを感じました。なぜかという、中国の方は、母国語の中国語で話すので、私の話す中国語が正しければ伝わり、会話をすることが出来ます。しかし、留学生同士では、お互いが中国語を学び、その努力がなければできないからです。私が中国に行かなければ出会えなかった、また出会った留学生が中国に来てくれなければ出会えなかったと考えると、とても貴重なのだと感じました。

③は、特に授業中は、どの生徒も自由に発言をしていい雰囲気で進みます。授業で学んだ文法や単語などは、授業中に定着させることが一番良いです。スピーキングの力を鍛えるのにも役に立つので、授業中の発言は大切だと感じました。クラスは、失敗を恐れさせないような雰囲気がありました。また、タクシーに乗った際に、運転手になかなか行き先が伝わら

いことが多くありました。自分の発音が悪いから伝わらないのだと、自信がなくなったことがあります。しかし、発音ではなく、私がかもごも言っていたため聞き取れなかったのだと気が付きました。今では、自信がなくても大きな声ではっきりつたえることができるようになりました。

最後に④は、中国に行く前から大切にしていたことです。授業に毎回遅刻をせず、一回一回の授業を大切にすること。店員さんなどかかわった人に誠意をもって接すること。学習に手を抜かないことなど、外国に行っても大切に、忘れてはいけないことだと改めて感じました。

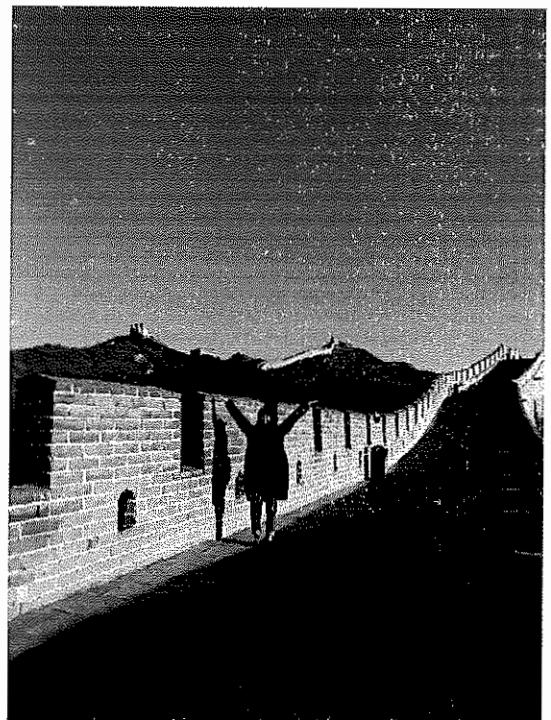
## 2. これから留学する学生へ伝えたいこと、メッセージ

留学は、一生に何度もいけるものでもなく、誰でも行けるものでもありません。だからこそ、後悔をしないよう、最後に全部やりきったと思えるような留学生活を送ってほしいと思います。

留学中は、日本にいるより、多くの人に出会うことが出来ると思います。一人ひとりとの出会いを大切にしてほしいです。また、語学学習にこんなに真剣に向き合える機会もないと思います。目標を設定し、達成してほしいと思います。私は、両親や学務の方、先生方のサポートがあったからこそ、留学中も楽しく過ごすことが出来ました。その協力があるからこそ、留学が出来ていることに感謝をし、忘れないでほしいと思います。最後に、留学中に、辛いこともあると思いますが、最後は絶対いい思い出になります。ぜひ素敵な留学生活を送ってください。



クラスメイト・先生と



万里の長城で